



パンフレットのツアーNo. をクリック（タップ）すると、
該当ツアーの申し込み画面に移動できます。

ハート型の猪目窓からの紅葉!と若冲と
高遊外売茶翁ゆかりの寺を訪ねて!

京都「正寿院」と黄檗宗大本山萬福寺でいただく普茶料理

★★★ゆったりバス席おひとり様2席利用の「ダブルシート」プラン(23名様限定)★★★

正寿院

創立は約800年前の高野山真言宗の寺院。山号は慈眼山(じげんざん)。ハート形の猪目窓で近年人気急上昇となり、160枚の天井画も素晴らしい!静寂の中でお茶とお菓子をいただきます。(散華付)※気象状況などにより紅葉の見頃が前後する場合がございます。※法話を予定しておりますが、行事等により急遽出来ない場合もございます。



黄檗宗大本山萬福寺

1661年に中国僧「隱元隆琦(いんげんりゅうき)禪師」によって開創されました。萬福寺の建造物は、中国明朝様式を取り入れた伽藍配置。主要建物23棟、回廊、額などが重要文化財に指定されています。

煎茶道の聖地

高遊外売茶翁(こうゆうがいばいさおう)は、肥前生まれ。鍋島家殿医の子。11歳で出家し、肥前・龍津寺の化霖道庵に師事した。13歳で師とともに宇治・黄檗山萬福寺の独湛性堂(どくたん しょうけい)に師事し、偈(げ)を与えられる。上流階級の文化だった喫茶の風習を庶民にまで広め、その煎茶趣味の一つの世界を形成する煎茶道にまで導きました。伊藤若冲、与謝蕪村らと親交があり、彼らは売茶翁を描いています。

江戸時代の天才画家といわれる伊藤若冲(1716-1800)は、売茶翁の生き方に憧れ自ら「米斗翁」と名乗ったほどです。人物をあまり描かなかった若冲ですが売茶翁の像は数点描いています。そのほか、売茶翁を敬愛し、肖像画を描いたのは池大雅、松平定信、田能村竹田、渡辺華山、谷文晁、富岡鉄斎など。この時代にこれほど多くの画家によって肖像画を描かれた人物は売茶翁のほかにはいません。



売茶翁偈語に画かれた
伊藤若冲筆 売茶翁図

日本遺産の町「宇治田原町の湯屋谷」

売茶翁は寛保2年(1742年)の初夏、湯屋谷の永谷宗円を訪ね、宗円の作った青煎茶を賞味して大いに満足し、終日茶事を語り合ったといわれています。*諸事情により立ち寄りできない場合があります。

猿丸神社(猿丸さん)

御祭神は、百人一首「奥山に 紅葉ふみわけ鳴く鹿の 声聞く時ぞ 秋はかなしき」の歌で有名な 猿丸大夫(さるまるだゆう)。近年は、瘤・でき物や身体の腫物の病気を癒す靈験があるとして、「こぶ取りの神」と篤く信仰されるようになりました。



昼食 萬福寺黄龍閣

普茶料理(ふちゃりょうり)とは、本宗の開祖隱元禪師が中国から伝えた精進料理で、「普茶」とは「普く(あまねく)大衆と茶を供にする」という意味を示すところから生まれた言葉です。普茶料理の代表的な料理は松花堂弁当にしたものと寿免(お吸い物)をお召し上がりいただきます。



(イメージ)

■旅行代金 (おひとり様) **17,800円** 昼食・拝観料・お茶・お菓子付

●旅行代金への支援額 **6,200円**

■お支払い実額 ※お取消しの際は、旅行代金を基準として所定の取消料が発生します。 **11,600円**

■行程 各地=黄檗宗大本山萬福寺(拝観※説明付・昼食)=(バス降車)…(徒歩15分)…正寿院(説法・お茶&お菓子付)…(徒歩15分)…(バス乗車)=宗円交遊庵やんたん(お買い物)=猿丸神社=各地

■発着地と出発日、発着時間

ツアーNo.201133

なんば 9:00 梅田 9:30 出発

17:00~17:30頃帰着

11月14日(土)

お電話・FAXでのお申し込み・お問い合わせは



06-6644-7900



06-6644-6400

営業時間：平日 9：30～17：30（土日祝・年末年始を除く）

◀◀ [なんかいい旅TOPへもどる](#)